

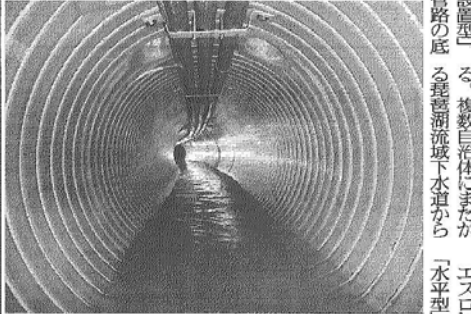
工業化学水積

「未来基準」の製品一堂に

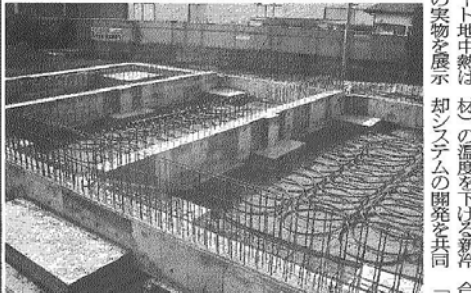
下水熱、地中熱の事例紹介も

積水化学工業(社長) 高下貞氏、本社・東京都港区虎ノ門2-3-17)は「エプロダクツ」に出展し、様々な化学が実現する未来基準の「暮らし」をテーマに、同社の製品や技術、取組を大々的に紹介する。ブースをぐるま(Vehi-chie)「まち(Town)」「いえ(House)」「いのち(Life)」の3ゾーンに分けて、各ゾーンでデモンストラシオンを行い、各ゾーンでデモンストラシオンを行い、各ゾーンでデモンストラシオンを行う。

高下貞氏、本社・東京都港区虎ノ門2-3-17)は「エプロダクツ」に出展し、様々な化学が実現する未来基準の「暮らし」をテーマに、同社の製品や技術、取組を大々的に紹介する。ブースをぐるま(Vehi-chie)「まち(Town)」「いえ(House)」「いのち(Life)」の3ゾーンに分けて、各ゾーンでデモンストラシオンを行い、各ゾーンでデモンストラシオンを行う。



エスロヒート下水熱(らせん型)



エスロヒート地中熱(水平型)の施工風景

探熱し、国内初めての工場等の製造プロセス分野での利用を想定している。この他にも過去実施のものには、国土交通省の「下水道革新技術実証事業」に採択され、大の都市部のオフィスビルや公共施設などのほかに、空調負荷の高い農業を通ずる構造を採用した新築の「エプロダクツ」を、発想の自給で、高速道路のサテライトエリアなど導入が準備されている。

探熱し、国内初めての工場等の製造プロセス分野での利用を想定している。この他にも過去実施のものには、国土交通省の「下水道革新技術実証事業」に採択され、大の都市部のオフィスビルや公共施設などのほかに、空調負荷の高い農業を通ずる構造を採用した新築の「エプロダクツ」を、発想の自給で、高速道路のサテライトエリアなど導入が準備されている。

イブリード自動車の充電は、同社は事業活動を通じて社会課題の解決を実現すべく、環境に配慮した製品を積極的に展開しており、そのような製品を展示すること自体が環境性に優れた展示になる。また、展示しているから、中でも顧客の元で高い環境貢献効果を発揮する製品を「環境貢献製品」と位置づけ、その市場拡大と創出を図っている。例えば同社では水道管・建物給水管用として耐震型高性能ポリエチレン管「エスロハイパーシリーズ」を展開する。これは従来の金属管よりも腐食に強く耐用年数が長くなることで、更新に伴う廃棄物を削減できる「環境貢献製品」。今回展示の製品は、今そして未来の「環

境貢献製品」として位置づけられる。このように「環境貢献製品」を積極的に展開し、その市場拡大と創出を図っている。例えば同社では水道管・建物給水管用として耐震型高性能ポリエチレン管「エスロハイパーシリーズ」を展開する。これは従来の金属管よりも腐食に強く耐用年数が長くなることで、更新に伴う廃棄物を削減できる「環境貢献製品」。今回展示の製品は、今そして未来の「環

境貢献製品」として位置づけられる。このように「環境貢献製品」を積極的に展開し、その市場拡大と創出を図っている。例えば同社では水道管・建物給水管用として耐震型高性能ポリエチレン管「エスロハイパーシリーズ」を展開する。これは従来の金属管よりも腐食に強く耐用年数が長くなることで、更新に伴う廃棄物を削減できる「環境貢献製品」。今回展示の製品は、今そして未来の「環